



その水虫、放置しないで！

皮膚科 医師 まや ゆか
真屋 由佳



誰でも一度は聞いたことがある水虫、本当の名前を知っていますか？水虫の正式な名前は白癬はくせんといい、真菌しんきん（カビ）が原因で起こる感染症です。よく知られているのは足の指の間や足の裏に生じる足白癬、足の爪が白く濁ったり厚くなったりしてしまう足爪白癬たんはくです。しかし、白癬はケラチンという蛋白を栄養源に生きる真菌のため、頭や顔、背中やお腹、股などさまざまな場所に生じます。白癬は足にしか生じないと思っている方が多く、足以外の白癬を診断されると驚かれる方がとても多いです。もちろん、足の白癬が一番多いのは事実ですが、どこにでも生じる＝足から他の場所にもうつしてしまう危険があります。

夏に増加傾向にある白癬ですが、足白癬は5人に1人が罹患しているといわれています。また、年齢が上がると罹患が増えるため、特に爪白癬は60歳以上の約4割が罹患しているという海外のデータまであります。

白癬は実際に皮膚や爪の一部をとって検査します。一部をとるといっても皮膚を切るわけではなく、皮膚をこすったり、爪の厚くなっている部分をピンセットや爪切りを使って削ったりするだけです。白癬の治療は外用薬（塗り薬）が主体です。ここで重要なのが、治療には長い時間がか

かるという点です。短期間塗って少し良くなったと思いい通院を中断してしまう方が多く、悪化して再度受診されることがあります。爪などは生え変わる時間を考えると半年以上かかることもあるので、根気よく治療する必要があります。また、特殊な病型や、治りが悪い場合には内服での治療を行うこともあります。内服での治療は簡単そうに聞こえますが、他の治療薬を内服していると白癬の治療薬を内服すること自体が難しい場合もありますので、希望される方は一度ご相談いただければと思います。

特に足の白癬で初めて外来を受診される方は、「実は何年も前からなんです…」と来院される方が大半です。白癬自体はすぐに命に関わるような病気ではありませんが、放置しておくと蜂窩織炎ほうかしきえんという細菌感染を引き起こすことがあります。蜂窩織炎は皮膚だけでなく筋肉などの深い部分にまで炎症を起こす重症な感染症につながるため、白癬は決して侮ってはいけないものです。

なお、白癬の感染は家庭内感染が一番多いといわれていますので、身近に白癬の方がいる場合には要注意です。足の指の間の皮がむけている、じくじくしている、水ぶくれのようなものがある、など気になる症状のある方は一度皮膚科を受診してみてください！

9月の救急医療機関

	外科休日当番医 (8:30～翌8:30)	歯科休日当番医 (9:00～12:00)	電話番号	住所
4日(日)	滝川脳神経外科	北竜町立歯科診療所	0164-34-2656	北竜町字和2番地17
11日(日)	市立病院	アダチ歯科	0125-65-2659	奈井江町字奈井江46-6
18日(日)	滝川脳神経外科	杉村歯科医院	0164-22-2323	深川市4条9番28号
19日(月)	市立病院	スマイル歯科	0125-74-5028	滝川市本町2丁目4番25号
23日(金)	市立病院	舟山歯科医院	0164-23-2255	深川市文光町12-28
25日(日)	市立病院	あさひ歯科クリニック	0125-22-0033	滝川市朝日町西1丁目6番1号

※市立病院…Tel 22-4311/ 大町2丁目2番34号 滝川脳神経外科…Tel 22-0250/ 西町1丁目2番5号
休日の内科・小児科の診療は市立病院で受け付けます（8:30～翌8:30）。

平日の時間外診療の協力医療機関については当番病院案内ダイヤル（Tel 22-2299）でお知らせします。